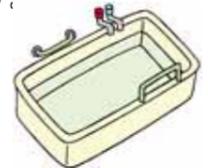


入院治療計画書

胃切除手術を受けられる患者さんへ

様

日時	月 日 入院・転科日	月 日 手術前日	月 日 手術当日(手術前)	月 日 手術当日(手術後)	月 日 1日目	月 日 2日～3日目	月 日 4日～6日目	月 日 7日～8日目	月 日 9日～退院(14日目)
検査	動脈からの採血があります。 (足の付け根から針を刺します) (必要時)				集中治療室で採血と 胸のレントゲン撮影が あります。	3日目、5日目、7日目に採血があります。			
点滴			点滴があります。 (抗生剤の点滴もあります) 手術の前に500mlが2本、 手術の後に1500～2500ml くらいの点滴があります		点滴があります。 (24時間ずっと点滴を します。感染予防で 3日ごとに点滴を 刺しかえます。)		必要に応じて点滴をします。		
治療 処置	ストッキングのサイズを測ります。 へそをきれいにします。 麻酔科の医師から診察があります。 集中治療室に必要な物を確認します。		朝7時に点滴を刺す場所に 麻酔のシールを貼ります。 着替えをしてから点滴をします 10時に浣腸をします。 弾性ストッキングを履きます。	創をみて ガーゼを交換します 	創を見ます。 消毒をして、ガーゼを交換します。				
食事	希望食がです。 制限はありません。 	希望食がです。 食事は夕食を食べたら それ以降は食べられません。 水分は21時まで飲めます。	朝から食べたり飲んだり できません。 	食べたり飲んだりできません。 	医師の許可があれば 水分が飲めます。 3日目に医師の指示 により流動食が開始と なります。	異常がなければ 徐々に食事が変わります。 (水分 流動食 5分粥 全粥)		希望があればご飯にできます 	
内服	一旦、すべての薬を看護師がお預かりします。 必要な分だけお渡します。		基本的には お薬は飲めません。 医師の指示があったとき だけ内服していただきます	*食べたり飲んだりできなくても、歯磨き・うがいはして下さい。 お薬は飲めません。			必要時、食事に合わせて消化剤が始まります。  		
活動	制限はありません。			ベット上安静です。 寝返りはできます。 早めに体を動かす ようにしましょう。	ベットで座る 練習をします。 	起立する 練習をします 	病棟内を散歩し、院内を歩行できます 		
清潔	シャワー又は入浴していただきます。 頭も洗いましょう。 (前日は必ず) 		体を温かいタオルで 拭きます。	体を温かいタオルで拭きます。 また、体調がよければ洗髪もします。 	お腹のチューブが抜けた翌日から シャワーに入れます。 				入浴できます。 
説明 指導	病棟の説明・案内をします。 入院時看護計画予定を説明します。 入院前の生活や症状についてお話を聞きます。 集中治療室の案内をします。 主治医から患者さん本人と家族の方に 手術の説明があります。 	ご家族の方はB棟2階の 「家族休憩室」で待機して 下さい。	開腹手術をする患者さんは背中から痛み止めが入ってきます。 それでも痛みある時は我慢せず教えて下さい。			食事が始まる時にパンフレットを使って栄養士から 食事指導があります。  必要時薬剤師が薬の説明 をするために、お部屋へ お伺いします。			栄養士から退院後の 食事指導があります。 
その他	<集中治療室に準備するもの> ・T字帯 3枚 ・腹帯 3枚 ・前開きのシャツ 3枚 ・バスタオル 2枚 ・ハンドタオル 2枚 ・ストロ-か水飲み 1個		<退院後の注意事項> ・紙オムツ(平らのもの) 2枚 ・ティッシュ 1箱 ・洗濯物を入れるビニール袋1枚 すべてのものに直接名前を 書いて下さい。						